**5月20日　インターンシップ経験者パネルディスカッション**

**花房弘也さん（経済4年休学中）島袋礼奈さん（経営3年）斉藤瑛梨香さん（経営4年）**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、パネリストへのメッセージ**

実際にインターンを経験した人の話を直接聞くことができてよかった。花房さんの話はインターンへ行く前に元々目標や目的がはっきりとあったため、インターンによって得られるものが明確でわかりやすかった。大学とインターンの両立において学業と両立出来た例とインターンに特化した例の２つを見られたのは大きい。特にインターンに重きを置いて休学した例は、大学という枠にとらわれないやり方であり、そのような道を考えていなかった私にとっては新鮮だった。（理工・建築都市環境系・２年）

島袋さんのように将来特にやりたいことがないから、きっかけとしてインターンに参加するのは得策だと思いました。将来起業したいとか、ビジネスに興味があるといった人はもちろんですが、それ以外にもインターンといった非日常的な環境に身を置くことで、意識を外側から変えていくのは重要だと思いました。話を聞いて思ったのは、やはりアルバイトとインターンとでは自分の中に蓄えられる経験値がまるで違うということです。インターンだからこそ、最初は社員同行したりしていても、次第に自分ひとりで営業に行くことができるというのは、会社のためだけではなく自分にとっても利益であり、自分の中に眠っていた潜在能力が引き出されると思います。（理工・数物電子情報系・3年）

私がこの授業を選んだ理由は起業を目指し勉強しながら働く日々の中で、忙しい毎日に流されて最初に持っていた情熱を失うのが怖くて、経営者のお話を聞くことでモチベーションを維持したかったからです。しかし、授業で学ぶのはインターンのことばかりでインターンをするつもりのない自分はこの授業に必要ではないのではないかと思います。(現在昼に働いている仕事が自分の目指している職業なので)しかも、学生にとってインターンシップが就職の演習に過ぎないように捉えられます。貧しい家庭で育ち教育を受けるのを許されず働くしか選択のなかった自分には、裕福な家庭で育った人たちにとっては仕事は自分探しの手段であるようにしか見えません。自分よりも社会のために働きたいと思う崇高な思想を持てるのは現在満たされているごくわずかな人だけだと思います。(経営夜間.1年)

　　今回、実際にインターンをした学生の話を聞けて、とても参考になることが多かった。まず第一に思ったのは、話していただいた３人とも、何かしらのきっかけや、動機があり、そこから実際に行動に移したという点。実際にアクションを起こすか、起こさないかというのは、大きな違いだと思う。正直、今までインターンの良いこと、魅力とかしか聞かされてなかったので、今回苦難や苦悩を聞くことができてとても参考になった。小さい企業、横に代表や社長が座っている環境で仕事をするというのは、とても興味深かった。（経営・経営システム１年）

正直、今回の授業はあまり面白くありませんでした。今までこの授業を受講してきた中で、唯一つまらなかったです。司会の人の質問に答える形式だったからか、何となく回答がステレオタイプというか、仕事は大変だったけど一生懸命頑張りました、というイメージしか残っていません。せっかく大学生の間の貴重な時間を用いてインターンシップという実学的な素晴らしい経験をなさっているのに、このパネルディスカッションではあまり伝わってこなかったのが残念です。非常に生意気かと思いますが、嘘をついて美しい言葉を並べるよりあえてきつい言い方ですが素直な感想を述べさせていただきました。今後のご活躍に期待しています。ありがとうございました。（経営学部　経営学科１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

今日の講義はとても身近に感じる事が出来また、自分も少しやってみたいという興味がわいてきました。まずは、インターン等の説明会に行く事から初めて見ようかなと思います。ですが、インターンにはお金がたくさんかかると思うのでバイトをがんばってお金を稼ごうとも思いました。インターンは一般の会社人と同じ人としてみられるので、たくさんの困難が伴うという事もわかりましたが、何となくだけで大学時代を終わらせるのはもったいないと思ったので、自分も行動を起こしていきたいです。今日はとても勉強になりました。ありがとうございした（経営学部　会計情報学科　１年生）

　それぞれが感じた「壁」の話を聴いて、自分のプライドを捨て、なぜミスしたのかや、解決策を考えることがとても重要だと感じました。「自分で自分の存在意義を作っていく」という言葉は今の自分にも必要なことを表していると思いました。（経済学部国際経済1年）

授業スタッフの感想１

全体的に、具体的に目的が決まっていない状態でインターンに挑戦したという話を聞いて、自分でも行けるのではないかと思った人が多かったようです。毎回素晴らしい講演ですが、中には感想で批判的な意見を述べる人も毎回います。皆が同じようなことを書く中、そういった違う意見は面白く、勉強になります。

今回とはあまり関係ありませんが、これからミーティングとかをするときに少数派の意見の中にも問題解決のヒントがあるかもしれない、だから単に多数決で決めてはいけないのだなと感じました。